

WTO新ラウンド交渉・香港閣僚会議の成功を望む —各国は政治的決断を—(概要)

2005年9月20日

(社)日本経済団体連合会

【現状】

危機的状況の新ラウンド交渉
(WTOへの信頼と多角的交渉による
自由化への支持喪失の懸念)

- ・2003年9月カンクン閣僚会議決裂
- ・2005年1月から2006年中への交渉期限延長
- ・2005年7月末の香港合意「たたき台」作成失敗

危機感を強める各国経済界
共同声明の発出、ジュネーブ等への
合同ミッション派遣

【今必要なこと】

自由化に向けた各国の政治的決断

先進国・新興途上国

- ・交渉の進展に向けたリーダーシップの発揮
- ・途上国の開発と交渉参加能力の向上支援、途上国の関心分野への配慮
- ・我が国は総合戦略構築と関係各省庁一体となって臨むことが不可欠

途上国

- ・貿易自由化が経済発展に資するとの認識に基づく、交渉への建設的な関与

【目標】

2005年12月
香港閣僚会議
大枠合意形成

【WTOの意義】

- ・グローバルな自由化・ルールの実現
- ・整備された紛争解決手続き
- ・途上国にとっても経済成長の基盤

2006年中 交渉終結へ

決裂すれば、保護主義の台頭・
国際政治不安定化

【分野別・日本経団連の主張】

農業

- ・市場アクセス改善のみならず、国内補助金、輸出信用、輸出国貿易等の削減、規律強化が不可欠
- ・我が国は、真に守るべき品目は守り、譲る品目は譲る立場で自由化に向けた政治的決断を
- ・国内農業改革を支持、着実な進展を期待

貿易円滑化

- ・レベルが高く具体的で、拘束力を有する円滑化ルール作成への努力を

鉱工業品等

- ・途上国と先進国の一部の高関税引き下げのため、高関税を是正する削減方式(スイス・フォーミュラ)を支持
- ・分野別関税撤廃・調和、非関税障壁撤廃に対する取組の継続を

ルール

- ・WTOをベースとする公正・透明なルール作成、改善が重要
- ・特に、恣意的・保護主義的措置防止のため、アンチ・ダンピング協定の明確化・強化が必要

サービス

- ・改訂オファー未提出国による早期提出、既提出国によるより質の高いオファー提出への努力が必要
- ・リクエスト・オファー方式を尊重しつつ、「補完的アプローチ」の具体的検討を

開発

- ・交渉推進のためには途上国配慮が不可欠
- ・わが国はじめ先進国は、キャパシティ・ビルディング(技術支援)にODAの積極的活用を
- ・新興途上国は先進国と同じルール適用の準備をし、途上国の「卒業」の議論を